



令和7年度 第3回学校運営協議会 開催報告書

R7.12.23 浜田ろう学校

令和7年度 島根県立浜田ろう学校 第3回学校運営協議会が開催されましたので報告します。

1. 会議の概要

開催日時	令和7年11月7日(金)13:30~15:30
出席者	委員6名、学校関係者8名
協議事項	<ul style="list-style-type: none">・グランドデザイン改定に向けて・浜ろうフェスティバルの総括と地域連携のあり方について

2 学校の近況について

10月に転入生を迎え、現在、幼稚部から高等部までの全学部の在籍となりました。生徒たちは全国聾学校卓球大会で優秀な成績を残したほか、高等部1年生1名が日本初開催となるデフリンピック(東京)の選手に選出されました。先生方が手作りの応援掲示を心を込めて作成し、生徒たちを応援しています。

3 学校目標の中間評価

- ・本年度の各学部および分掌で立てられた目標について中間評価を実施しました。進捗状況は全体的に「概ね良好」であり、後期も目標達成に向けて引き続き取り組みを進めていきます。

4 協議

以下のことについて、委員の皆様と協議しました。

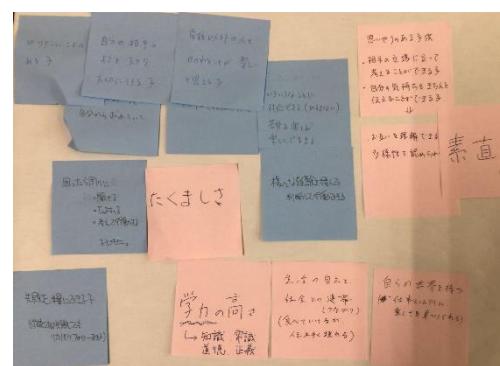
(1) グランドデザインの改訂に向けて

グランドデザインの策定(令和3年度)から5年が経過しました。グランドデザインとは、「**目指す子供像を明確にし、それを組織的にかなえていくための基本構想**」です。新しい教育政策の流れを受け、委員のみなさまと一緒に育てたい力について考えました。「たくましさ」「生活の自立」「障がいを個性に堂々と」等の意見が出されました。

(2) はまろうフェスティバルの振り返り

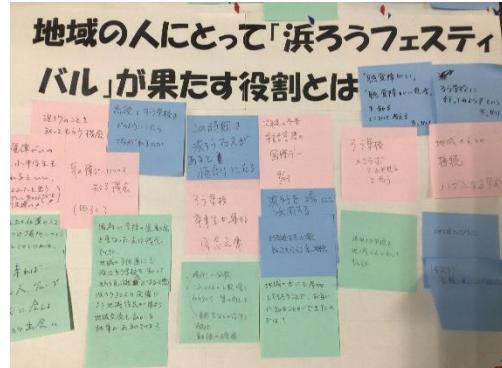
「多様なコミュニケーションが混じり合うはまろうフェスティバル」をテーマに実施し、来場者数約330人となりました。生徒が「自分たちのやりたいこと」を実現するために主体的に活動したことにより、地域や県外からも出展や展示があり、多様な交流が実現しました。昨年度からの課題であった食の安全と危機管理は徹底されましたが、開催時期が同世代の高校の中間試験や地域の運動会と重なる点が課題として残りました。地域委員からは、「フェスティバルは地域の人々にとって聴覚障がいについて知る絶好の機会」であり、「もう学校に行ってみるきっかけ作り」となっていいってほしいという意見が出されていました。

「育てたい力」



「地域の人にとって「はまろうフェスティバル」が果たす役割とは？」

地域の人にとって「浜ろうフェスティバル」が果たす役割とは



委員の皆様には、学校外の視点から気づきをいただきました。ありがとうございます。

本年度の学校運営協議会の予定は、2月27日(金)13:30~15:30です。

よろしくお願ひいたします。



Instagram
いいね！
よろしくお願ひし
ます